

内子町の「地域おこし協力隊」に、新しく2人が4月1日付けで着任しました。任期は最長で3年です。それぞれがミッションを掲げ、町の活性化に向けて活動します。ここでは新任隊員の思いを紹介します。



リン
 家瑄さん

伝えたいのは、人々の温もり
 未来に向けた観光基盤づくり

台湾出身で、日本に来て9年目になります。「せっかく日本に来たから地元の人とふれあいたい。地域の発展につながる仕事をしたい」という気持ちがあり、昨年度まで2年半、徳島県三好市で協力隊をしていました。内子町へは視察で訪れ、利用した民宿で心のこもったおもてなしに感動。この温かさを多くの人に感じてほしい、運命の出会いだと感じ、内子町の協力隊になりました。

ミッションは、持続可能な観光のマネジメントです。国が定めた「持続可能な観光ガイドライン」を基に、内子町にふさわしい観光とは何かを考えます。町の強みは何か、時代のニーズに合わせて、観光へどう生かすのか——。皆さんと共に見つけていきたいです。町並み・村並み・山並みの美しさがそろっているのはすごいこと。地域にとっては当たり前でも、よそ者視点で見ることで、新たな価値に気付けるかもしれません。町の魅力が世界中に伝わり、未来に受け継がれるよう、精一杯頑張ります。



町並みで、オーストラリアからの観光客に道案内



久保
 宏允さん

部活動で地域と生徒をつなぎ
 町全体の成長を目指したい

地元・内子町へ協力隊員として戻ってきました。中学校部活動の地域クラブ移行に向けた仕組みづくりが私のミッションです。内子町は部活動の将来について、委員をはじめ地域全体で熱心に考えていると感じています。これからの3年間、より皆さんの理解を得て、応援してもらえる形にできるようコーディネートしていければと思います。まずは部活動を通して、中学生と地域の接点をつくりたいと考えています。現在は立川地区で開かれるモルック・ボッチャ大会に、総合スポーツ部の出場を計画中。また住民が部活動を体験できる機会もつくりたいです。中学生と地域が本気で向き合うことで、同じ方向に向かって進んでいけると思います。

部活動は生徒にとって、技術やコミュニケーション力の向上など、あらゆる力を養える大切な時間です。地域へ移行することは、中学生の成長の場が広がるということ。その場に住民も直接関わることで、町全体の発展につながればうれしいです。



1年生に向けた部活動紹介動画を作成する久保さん

選挙の公正な執行のために長年尽力
 寺岡博さんに総務大臣表彰

長年にわたり内子町選挙管理委員を務めた寺岡博さんが、第50回衆議院議員総選挙での功績をたたえられ総務大臣表彰を受賞。伝達式が3月24日、南予地方局で開かれました。寺岡さんは平成25年から同委員となり、令和5年12月からは委員長を歴

任。公正な選挙の管理執行や、移動期日前投票所の導入などに尽力しました。表彰を受けて「他の委員や立会人、町職員など多くの人に関わっていただいたおかげ。投票は住民の意見を示す大切な権利。ぜひ皆さんの一票を投じてほしい」と語りました。



表彰状を手に「支えてくれた家族にも感謝」と振り返る寺岡さん

期待と、ちよっぴり不安でドキドキ
 103人が小学校生活をスタート

町内小学校の入学式が4月8日、各校で開かれ、103人の新入生が学び舎に仲間入りしました。創立150周年を迎える小田小学校では、5人の新1年生が少し緊張した様子で入場。在校生や保護者が温かい拍手で迎え入れられました。式典では

上岡教頭が「今日から歴史ある小田小学校の仲間。早く慣れて、学校を好きになってほしい」とあいさつ。また6年生が授業の様子などを劇で紹介すると、新1年生は「わあ」と笑顔を見せ、これからの学校生活に期待を膨らませていました。



真新しい教科書を「ありがとうございませう」と元気いっぱい受け取った5人

『広報うちこ』が2部門で入選
 「令和7年全国広報コンクール」

「令和7年全国広報コンクール」(社)日本広報協会主催)が行われ、『広報うちこ』2024年12月号表紙が写真部門(一枚写真)で入選1席、同月号が広報紙部門(町村部)で入選3席を受賞しました。12月号の表紙は、町内の中学生が赤ちゃんに触れ合い、命の大切さを学ぶ「いのちの授業」で撮影。無邪気な赤ちゃんを抱っこする中学生の、少し不

安げで愛情いっぱいの子供です。また10月号では設立30周年の内子町国際交流協会特集し、事業に関わる多くの人が登場しました。身近な話題や頑張る皆さんの声など、紙面で伝えるまちの輝きが、受賞につながりました。いつも応援していただき本当にありがとうございます。今後も皆さんの役に立つ「ふるさとの香りがする広報紙」を目指します。



上1枚写真の部で入選の12月号(右)と、10月号の表紙下10月号の特集では、海外派遣事業の参加者や職員の声などを紹介